



健二郎 佐藤けんじろう県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

急務!! 習志野の津波高潮対策

「未来都市創造(17万市民の声を県政へ)」をスローガンに、「ふるさと習志野市の発展に全力を注いでいる佐藤健二郎県議は6月定例県議会で一般質問を行い、県政の課題や施策について県執行部に質しました。地球温暖化で気候変動が進む中、佐藤県議は温室効果ガス削減施策についての県の取り組みと併せて地元習志野の津波高潮対策を質問、また、新型コロナウイルス感染症の対応で収益が低下しているといわれる医療機関へ更なる支援が必要とし、県の考えを聞きました。佐藤県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

6月定例県議会一般質問



新型コロナウイルス感染予防のためマスク姿で一般質問を行う佐藤健二郎県議

温暖化対策について、目標達成に向け県はどのように取り組んでいるのか。

知事「千葉県地球温暖化対策実行計画」では、県民や事業者等が分かりやすく、取り組みの効果が実感できるよう、エネルギー消費量やゴミの排出量の削減など、具体的な数値目標を掲げ、それが主体的に地球温暖化対策に取り組むこととしています。

佐藤議員 昨年台風・大雨災害では、「気候変動」の時代に突入したことを痛切に実感した。私の地元、習志野市の国道14号線以南の埋立当時の計画は、大正6年に発生した、東京湾台風で計測した既往最大潮位をもとに埋立てされている。それから100年以上経過し、いまだに、それ以上の潮位は計測されていないが、『気候変動』を鑑みれば、更なる堅強な防護施設が必要であると考えます。

佐藤議員 現在、15年間で22%の温室効果ガスを削減するという大きな目標がある。それを達成するために様々な取り組みを実施している。しかし、それら個々の取り組みに対しての数値目標がない。ただ漠然と頑張っているように見える。先日、環境白書が公表されたが、初めて『気候危機』という言葉が使われた。県民の皆様と気候危機であることを共有し、個々の施策についても、数値目標の設定なども含めて進捗管理を適切に行い、実効性のある計画にするとともに、県民一丸となつての推進となるよう要望する。

温室効果ガス削減施策に

数値目標の設定を

佐藤議員 令和の新时代、自然との付き合い方を更にもう一歩踏み込んで考えるときがきていると思う。近年の台風の強大化や集中

豪雨の増加などの気候変動は、地球温暖化の影響を受けているといわれている。気象庁の報告書によると、この50年で千葉市の年平均

気温は2℃も上昇し、県内の年間降水量50mm以上となる豪雨の発生回数が増加している。

このため、県では、家庭の再生可能エネルギー設備等の導入に対する助成や、ゴミの減量化・リサイクルに向けた普及啓発等によ

水門・排水機場の整備着手を

佐藤議員 昨年の台風・大雨災害では、「気候変動」の時代に突入したことを痛切に実感した。私の地元、習志野市の国道14号線以南の埋立当時の計画は、大正6年に発生した、東京湾台風で計測した既往最大潮位をもとに埋立てされている。それから100年以上経過し、いまだに、それ以上の潮位は計測されていないが、『気候変動』を鑑みれば、更なる堅強な防護施設が必要であると考えます。

佐藤議員 習志野3河川の高潮対策について、県としてようやく整備に向けた方針を示していた。習志野市では、大正6年の災害で内陸部まで津波(高潮)が押し寄せてきたとの文献が残っている。また、既往最大潮位よりも低い土地にお住まいの方が多数い

らつしやる。本年もそろそろ台風の季節が到来する。一刻も早く、検討を進めていただき、住民が安心して暮らせるよう、計画高潮位に対応した水門と排水機場の整備に着手するよう強く要望する。

お知らせ

佐藤県議の一般質問は、県議会のホームページからインターネット中継(録画)ですべてご覧いただけます。



本会議録画中継

令和2年度6月議会 過去最大補正予算追加提案分の主な事業(抜粋)

- 医療従事者、介護職員等への慰労金の支給
- 感染症患者受入れのための空床確保
- 社会福祉施設等感染対策支援事業
- 学びの保障のための人員体制の強化
- 妊産婦への総合的な支援
- ひとり親世帯に臨時特別給付金
- 感染症対応特別資金利子補給事業
- 『ディスカバー千葉』宿泊者優待事業 など

医療機関へ更なる支援を

佐藤議員 新型コロナウイルス感染症については、多くの医療機関の皆さんが、その使命に従い、献身的に対応しておられる。感染症患者の入院を受け



再質問を求める佐藤県議

入れる医療機関では、人員体制を整え、また、院内感染防止対策を徹底するため、一部の診療機能を縮小するなどした結果、大幅に収益が減少している例がみられるとのことだ。

そこだろうか、感染症対策をはじめとする地域の医療提供体制を確保するため、医療機関への更なる支援が必要だと考えるがどうか。

保健医療担当部長 今回、県において、感染症患者受入れに伴う収益減少等の課題

題についても調査し、病床確保のための入院患者の受入協力金等を6月補正予算に計上しました。また、国に対しては、更なる診療報酬の見直し等を要望したところで。

今後、医療機関の経営状況等の実態を把握しながら、国の第2次補正予算を活用した医療機関への支援について検討し、国に対して必要な要望を行ってまいります。

要望 佐藤議員 地域の安定的な医療提供体制が確保されるよう、引き続き、医療機関の状況把握に努めるとともに、国への

都計道美浜長作町線 長作交差点に 右折レーン設置

佐藤議員 都市計画道路3・3・15号美浜長作町線の進捗状況はどうか。

国土整備部長 千葉市花見川区長作町から習志野市実綱3丁目までの長作交差点を含む1・3キロメートルの区間のうち、南側の0・5キロメートルについては、昨年度、用地測量を実施しました。

Web物販支援 県、相談窓口を設置

佐藤議員 新型コロナウイルスの影響により販売手法の見直しが必要な事業者に対して、県はどのような支援を行うのか。

商工労働部長 新しい生活様式の実践に当たり、インターネット販売等に取り組む事業者が増えています。小規模事業者ではノウハウに乏しく速やかな導入が難しいとの声があることから、その取り組みを支援することは重要と認識して

います。

そのため、県では、千葉県産業振興センターに相談窓口を設置し、IT活用や売上向上などの課題に対応するとともに、今後は、専門家が直接企業を訪問してより具体的な助言を行うこととしていきます。

さらに、今年度からは、企業の利便性を考慮し、ウェブを活用したITセミナーなどを実施することとしております。

再質問 佐藤議員 専門家の具体的な

助言やウェブを活用したセミナーの開催は、できるだけ早期に実施するとともに、小規模事業者に対して丁寧な周知が必要と考えるがどうか。

商工労働部長 企業を訪問しての具体的な助言やセミナーについては、県ホームページや商工会・商工会

要望 佐藤議員 販売手の法的見直しなど、経営の立て直しは急務となっている。戦略的なノウハウなどを習得できるよう、県としての後押しを要望する。

県立高校 全ての生徒に スマホメアド 休校中の学習に活用

佐藤議員 昨年度の県の調査では、県内高校生の

97・6%もの生徒がスマートフォンを所持していること

どのようなものがあつたのか。教育長 県立高等学校と

が分かったが、新型コロナウイルス感染症による臨時休校中、学校におけるスマートフォンの活用事例として

生徒との連絡を迅速かつ確実に行うため、全ての生徒にメールアドレスを付与いたしました。これにより、生徒のスマートフォンを介し、学習プリントの定期的な配付・回収、また、日々の健康状態の把握が簡単に行えるようになりました。

一部の学校では、既に入っていた学習支援ソフト

を用い、オンラインでのホームルーム、個別面談や学習に関する質疑応答等も行われております。

この度の補正予算で全ての県立高等学校を対象に学習支援ソフトの導入経費を計上、生徒のスマートフォンなどを活用してより一層一人一人の理解度に応じた学習が可能になると期待しています。

要望 佐藤議員 学校で自分のスマートフォンを活用しても通信費がかかるように、無線LAN環境を早急に整備するよう要望する。

● 県政と習志野市に関するご意見をお寄せください。

議事所
佐藤けんじろう

習志野市東習志野3-5-1
TEL.047-475-2001 FAX.047-475-2002